

くすり一口メモ

抗不安薬の特徴

今日、日常生活の中で我々は常に緊張や不安、ストレスなどを感じており、精神的に不安定な状態に陥り、日常生活に支障をきたす場合が増えてきています。そんな不安や緊張などを選択的に除去または軽減するために抗不安薬がよく用いられます。しかし、耐性や依存また離脱症状などに注意が必要です。そこで、抗不安薬をより安全かつ効果的に使用するために、その特徴をまとめてみました。

一般名	商品名	作用特性					半減期 (hr)	最高血中濃度到達時間 (hr)	特徴	最大投与日数
		抗不安	鎮静催眠	筋弛緩	抗痙攣	抗うつ				
クロチアゼパム	リ - ゼ	1+	1+	±	±	-	4.0	2.2	低力価型。味が苦いので、糖衣錠になっている。	30
オキサゾラム	セレナール	1+	±	±	±	-	50~62	7~9	低力価型。大脳辺縁系のみ作用することで静穏作用が強く、行動を抑制する作用は弱い。	30
メダゼパム	レスミット	1+	±	±	±	-	2~5	1~3	体内で代謝され、ジアゼパムなどに变化する。7日以内に作用が発現。	30
クロルジ アポキシド	バランス コントロール	2+	1+	2+	2+	+	6~28	1	最初のベンゾジアゼピン系抗不安薬。大量で血圧低下をきたす。	30
フルタゾラム	コレミナール	1+	±	±	±	-	3.5	1	胃や大腸の運動を抑制する。	30
アルプラゾラム	コンスタン ソラナックス	2+	2+	1+	±	+	14	2	HIVプロテアーゼ阻害剤との併用禁忌。母乳中へは服用30分後に血中濃度の1.5倍になる。以後は速やかに排泄。	30
ジアゼパム	セルシン ホリゾン	3+	2+	2+	3+	-	27~28	1	大脳に特異的に作用し、選択的に不安や情動異常を除去する。筋痙攣を抑制し間脳に作用して、臓器異常を改善する。	90
メキサゾラム	メレックス	2+	2+	±	-	2+	60~150	1~2	作用発現まで1~2週間かかる。母乳中への移行は服用後2時間後にピークに達する。	
ロフラゼブ 酸エチル	メイラックス	2+	2+	1+	1+	-	1.2	122	体内で活性の強い物質に変化。吸収されやすく、持続性がある。	30
エチゾラム	デパス	3+	3+	2+	1+	1+	6	3	高力価型である。筋弛緩作用が強いため筋収縮性の頭痛や筋緊張に用いられる。脳内でノルアドレナリン再取り込み阻害により抗うつ作用を示す。	
ロラゼパム	ワイパックス	2+	2+	1+	±	-	10~20	2	低用量で、ジアゼパムなどよりも強い抗不安作用を示す。	30
プロマゼパム	レキソタン セニラン	2+	2+	2+	±	-	7	1~4	抗不安作用や静穏作用はジアゼパムの5倍、催眠作用はジアゼパムの2倍強い。	30
フルトブラゼパ	レスタス	2+	2+	1+	1+	-	23	1	従来の抗不安薬のなかで最も強い抗不安作用と持続性をもつ。	
タンドスピロン	セディール	2+	-	-	-	2+	1.2	0.8	セロトニンに選択的に作用し、抗うつ作用も示す。	

【参考文献】

- ・今日の治療薬 2004 水島 裕 南江堂
- ・薬効別服薬指導マニュアル 田中 良子 じほう
- ・各種医療用添付文書

(鹿児島市医師会病院薬剤部 柿本 智広)